

平成30年6月18日
京都府立植物園

珍しい花が咲きました!! ブルボフィルム・マクロブルブム & パッシフロラ・アンチオキエンシス

京都府立植物園の観覧温室で、昨年国内初開花した「ブルボフィルム・マクロブルブム」が、併せて赤紫色の花を垂れ下げる「パッシフロラ・アンチオキエンシス」がともに冷房室で開花しましたのでお知らせします。

両種ともに珍しい花ですので、ぜひご覧ください。
見頃は6月下旬までです。



学名： *Bulbophyllum macrobulbum*
(ラン科ブルボフィルム属)
和名：ブルボフィルム・マクロブルブム
原産地：ニューギニア

自生地では標高 300 ~ 400 m の高さに分布し、苔で覆われた木や岩の表面に着生しています。

バルブ（偽球茎：茎の節間から生じる貯蔵器官）はオリブグリーン色の卵形で、その先端に肉厚で長楕円形の長い葉を付けます。バルブの基部から短い花茎が伸び、直径約 10 センチで腐敗臭のある赤紫色花を 3 ~ 5 個付けます。

今年は昨年より多くの花茎が確認でき、長く楽しめそうです。



学名： *Passiflora antioquiensis*
(トケイソウ科パッシフロラ属)
和名：パッシフロラ・アンチオキエンシス
原産地：コロンビア

標高 1800 ~ 2700m の冷涼な雲霧林に生育するつる性の多年草で、直径 8 ~ 12cm の赤紫色花が垂れ下がって下向きに付きます。

トケイソウの仲間では珍しく、花の寿命は 3 ~ 4 日です。花後につく果実は食用となり、レッド・バナナ・パッションフルーツの名前で流通しています。

種小名は自生地アンチオキア県（コロンビア北西部のアンデス地方）にちなみます。